

富士山を学び、守る

富士山憲章

ニュースレター

2006.

11

No.76

発行

富士山ボランティアセンター

今月の話題

Contents

富士山憲章ニュース

- 環境にやさしい山小屋トイレの整備
- 富士山北麓のエコツーリズム
- 富士北麓市町村等の富士山関連事業～身延町～
- 富士山美化清掃活動（10月）

富士山レンジャーレポート

- 富士山と文化財
- こんなものみつけたよ（キノコの役割）

お知らせ

○富士山関連イベント

富士山吉田口下山道7合目の公衆トイレ

富士山吉田口の下山道には山小屋がなく、七合目に公衆トイレがあるのみです。このトイレは環境省と山梨県、周辺市町村と富士山吉田口旅館組合からなる協議会で維持管理を行っています。平成11年からトイレのチップ制を導入しており、今年度は**34,293**人の利用者の皆さんから**1,912,757**円のチップをご協力いただきました。集められたチップは、トイレの維持管理や故障時の修理費などの、重要な資金源として、大切に使用されています。



富士山の自然環境への負荷を減らし、トイレマナーを守ろう。



（七合目山小屋トイレのカキ殻処理槽棟）



（カキ殻処理層内）

環境にやさしい山小屋トイレの整備

富士山に「カキ殻？」海のミルクと呼ばれるカキ。実は、廃棄物となったカキの殻が再利用され、富士山の環境保全に重要な役割を果たしています。

平成18年10月27日に富士山七合目の山小屋に完成した環境配慮型トイレは、カキ殻を利用した浄化循環式です。標高の高い場所でも活動できる微生物が汚水を分解し、更に、優れた浄化能力を持つカキ殻が大腸菌を吸着して、汚水を浄化します。浄化された水は、水洗トイレの洗浄水として再利用され、トイレと浄化槽を何度も巡り、一滴の水も無駄になりません。臭いもなく、とても快適で環境にやさしいトイレです。

しかし、富士山の厳しい自然の中で、このようなトイレを設置するには、多額の費用がかかります。このため、平成14年度から、行政（環境省、山梨県、富士吉田市）の支援を得ながら吉田口の山小屋経営者が積極的に環境配慮型トイレの整備を進めてきた結果、本年度、全ての山小屋トイレの整備が完了します。整備後のトイレは、整備した各山小屋が維持管理を行いますが、便槽に異物が捨てられたこと等を原因とする故障の修理、トイレットペーパーや処理のために必要な消耗品や燃料など、山岳トイレの維持管理にはコストがかかります。

何よりも大切なことは、登山者が環境意識を持ち、トイレの利用マナーやチップへの協力など、環境に優しい行動を心がけることです。

トイレを使うときは忘れずに……

トイレはきれいに使い、ペーパーの分別に協力を！便器にはゴミを絶対捨てない！トイレのチップにご協力を！

